

## 2017年度特集号「文法と計量研究」への投稿論文募集のお知らせ

計量国語学会では、このたび学会誌の活性化を図るため、30巻6号の「WWW コーパスを用いた研究」に続き以下のとおり特集号を刊行することにいたしました。

### 特集号タイトル

文法と計量研究

### 趣旨

文法は言語研究において研究者人口も多く、もっとも盛んに行われている分野と言ってもよいでしょう。しかし、文法研究で計量的手法が用いられることは少なく、用いられる手法も素朴なものにとどまっている感があります。構造や一般性を指向する文法研究は定性的研究であって、計量的な手法を必要としない側面があることは確かですが、定性的か定量的かという区分は単純なものではなく、相互に関係しあっていると考えべきでしょう。その意味では、文法研究における計量的なアプローチは、今後大いに進展が期待できるものと考えられます。

文法研究は、従来内省や少数例によって考察が進められてきましたが、近年、利用できるコーパスが増大したことや係り受けアノテーションを施したデータの公開などを受けて、計量的な研究を行う環境が整ってきました。内省で得られた知見やモデルの検証が客観的に議論できるようになったと言えます。

学会では、文法を扱った定量的な研究（語彙・意味などの他分野と文法との融合的な研究も含みます）について、個別・具体的なものから応用まで広く投稿を募ります。文法における量的側面の意義や位置付けを論じる理論的考察や文法現象に関する計量的調査報告、言語教育における文法教育に貢献する計量的調査研究、文法の計量的研究に役立つデータやツールの紹介なども歓迎します。対象とする言語は日本語に限りません。カテゴリは論文A、論文B、研究ノート、研究資料の4つです。

### スケジュール

2016年3月20日投稿受付開始

2017年3月31日投稿受付終了

2017年9月下旬第31巻2号に掲載

(査読で改稿に時間を要した場合、次号以降の掲載になることがあります)

### 特集号原稿投稿宛先

submission@math-ling.org

通常の投稿先と同じです。投稿時に特集号への応募であることを明記して下さい。特集号への投稿についても一般の投稿と同じように査読を行います。今回の投稿カテゴリは、「論文A」「論文B」「研究ノート」「研究資料」のいずれかとします。

投稿と同時に当学会に入会することができます。その場合は、学会事務局にもメールでご一報ください。事務局のアドレスは、office@math-ling.orgです。